

科目名	高齢者看護学概論	対象学生・時期	1年生・後期	
		講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	専任教員			
科目目標	1. 高齢者の身体的・社会的・精神的特徴とその生活について理解する 2. 社会構造の変化と保健医療福祉制度の動向を理解する 3. 老年期における健康課題と看護の役割について理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	ライフサイクルからの 高齢者の理解  老年看護の役割	1. 老年期の定義 2. 加齢と老化 3. 老年期の発達課題（エリクソン、ペック、バトラー）	講義	
2	生活史からの高齢者の 理解 高齢者の生活変化	1. 生活史から見た高齢者 2. 高齢者の多様性		
3	加齢に伴う変化	(呼吸・循環機能、消化機能、代謝・排泄機能、免疫機能の老化)		
4	老年期の健康課題	(脳、認知・知覚機能、筋骨系、感覚器系、性機能の老化、)		
5	健康増進・疾病に伴う施策 や取り組み 生活の場に応じた看護	1. 健康状態が急速に変化する対象の身体的・心理的・社会的特徴 2. 災害における高齢者の心理的支援		
6	高齢者と家族 高齢者の保健・医療・社会の動向	1. 家族構成、形態の変化、人間関係、介護と家族 2. 人口学指標、健康指標、法律と制度 3. リロケーション 4. 高齢者医療確保法に基づく制度、日常生活自立支援事業		
7	高齢者と QOL  老年看護における倫理的課題	1. 尊厳と権利擁護、 ノーマライゼーション、 自立支援、フォーマルサービス、インフォーマルサポート 2. 虐待、身体拘束、成年後見制度		
7.5	単位認定試験			
評価方法	筆記試験、レポート			
使用テキスト	系統看護学講座 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会			
備考				

科目名	高齢者の健康な生活の保持・増進 にむけた看護	対象学生・時期	2年生・前期		
		講義時間（単位）	30時間（1）		
講師名	専任教員 認定看護師（摂食・嚥下障害看護）				
科目目標	1. 高齢者の加齢に伴う健康状態や日常生活能力をアセスメントする方法を理解する 2. 高齢者とその家族の健康・自立を支えるための基礎的援助方法を理解する 3. 加齢に伴う症状に対する援助方法について理解する 4. 高齢者とその家族の自立を支える日常生活の援助を理解する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	高齢者の基礎的援助	1. 高齢者の観察 2. コミュニケーション	講義		
2	高齢者の理解	1. 精神的・社会的変化の理解 2. 高齢者疑似体験 3. 歩行介助・移動	講義 演習		
3	自立を支える日常生活の援助	1. 食生活と栄養 2. 高齢者の食事に関する看護技術 1) 経管栄養患者の看護 2) 経鼻胃管の挿入・注入	講義		
4		1. 活動・運動とレクリエーション 2. 休息と睡眠 1) 睡眠と覚醒の変化、不眠 2) 高齢者の生活リズムに関する看護技術 3) 睡眠薬の使用方法			
5		1. 排泄 2. 性生活 1) 尿失禁・便失禁のある高齢者の看護 2) おむつ交換	講義 演習		
6		1. 清潔 1) 口腔ケア 2) 嚥下訓練	講義		
7		1. 身だしなみ 2. 住環境 3. 対人関係			
8		高齢者に多い事故への対応	1. 転倒・転落 2. 熱傷 3. 窒息 4. 感染		

9	加齢に伴う症状と看護	1. 痛み 2. 掻痒感	講義	
10		3. 痺れ 4. 冷え		
11		5. 振戦 6. 脱水		
12		7. 認知症・うつ・せん妄・気分障害		
13		8. 難聴 9. 聴力障害		
14		10. 継続看護 11. 高齢者・家族の思い		
15		単位認定試験 まとめ		
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院</li> <li>・ 系統看護学講座 老年看護学 医学書院</li> <li>・ 看護過程に沿った対象看護 学研</li> </ul>			
備考				

科目名	健康障害のある高齢者の看護	対象学生・時期	2年生・前期	
		講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	看護師			
科目目標	1. 高齢者の健康障害の特徴を理解する 2. 治療を受ける高齢者とその家族への看護を理解する 3. 高齢者に特徴的な疾患について、家族を含めた看護を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	健康障害のある高齢者の看護	1. 高齢者に起こりやすい疾患の特徴	講義	
2		2. 症状、徴候		
3		3. アセスメントと観察の視点		
4		4. 脳卒中		
5		5. 認知症		
6		6. パーキンソン病		
7		7. 高血圧		
8		8. 不整脈		
9		9. 心不全		
10		10. 肺炎		
1	健康障害のある高齢者の看護	11. 慢性閉塞性肺疾患	講義	
2		12. 大腸憩室		
3		13. 大腸がん		
4		14. 逆流性食道炎		
5		15. 前立腺肥大症		
6		16. 前立腺がん		
7		17. 骨粗鬆症		
8		18. 関節リウマチ		
9		19. 変形性関節症		
10		20. 骨折		
1	健康障害のある高齢者の看護	21. 感染症	講義	
2		22. 疥癬		
3		23. 老人性掻痒症		
4		24. 白内障		
5		25. 難聴		
6		26. 歯周病		
1	寝たきり防止と自立支援	1. 持つ力(高齢者の強み)に視点をのいた支援 2. 生活と自己管理の調整	講義	

11	身体可動性障害のある高齢者の看護	1. 薬物療法 2. 食事療法 3. 運動療法 4. 転倒予防	講義	
12	受療形態に応じた看護	1. 外来            2. 検査 3. 入院時        4. 退院時		
13	治療を受ける高齢者の看護	1. 経過に応じた看護 2. 薬物療法 3. 手術 4. リハビリテーション		
14	終末期の関わり	1. 予期悲嘆 2. グリーフケア 3. デスカンファレンス 4. 看取りの場		
15	単位認定試験 まとめ	試験		
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	・系統看護学講座	老年看護 病態・疾患論	医学書院	
	・系統看護学講座	老年看護学	医学書院	
備考				

この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	高齢者看護学演習	対象学生・時期	2年生・前期		
		講義時間（単位）	30時間（1）		
講師名	専任教員				
科目目標	1. 高齢者を対象とした看護過程の展開ができる 2. 高齢者およびその家族に必要な看護技術を習得する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	看護過程の展開	1. 高齢者の看護過程の展開	講義		
2		2. 回復期にある高齢者の看護			
3	（事例） 大腿骨頸部骨折を患った高齢者	1. 意図的な情報収集	個人ワーク		
4		2. 高齢者のアセスメント			
5		3. 関連図			
6		4. 仮診断 5. 看護診断 6. 優先順位決定の理由	個人ワーク グループワーク		
7		7. 計画立案 アウトカムの設定、高齢者のもつ力			
8					
9		8. 評価・修正			
10		9. 回復期にある高齢者の看護のまとめ	学習成果の共有 講義		
11		指導技術	1) 良肢位の保持		演習
12			2) 片麻痺患者の移動		
13	3) 義歯の取り扱い		講義		
14	4) 指導技術まとめ				
15	単位認定試験 まとめ				
評価方法	・課題レポートと授業態度での評価（別紙参照）または筆記試験				
使用テキスト	・系統看護学講座 老年看護学 医学書院 ・根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ・看護診断ハンドブック 医学書院				
備考	学習の進度により、授業形態および授業順序等を変更する可能性あり。				

